

第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成17年10月14日(金) 5校時
児 童 男7名 女8名 計15名
指導者 岩 間 勝 範

1 単元名 大事なことをたしかめよう

教材名 「すがたをかえる大豆」 国分 牧衛

2 単元について

(1) 児童観

今年の4月に実施したNRT学力検査では、国語の「読むこと」は、全国正答率が60.7%に対して、学年正答率は56.1%と全国比は92であった。男女差が大きく、男子が49.9%に対して女子が61.5%の正答率であった。読み取りにおいては、「場面を想像しながら読むこと」「内容を考えながら音読すること」を苦手としている。

3年生の一学期の説明的文章「ありの行列」では、時間的な順序に気をつけて読んだり、「はじめに」「次に」「この研究から」の順序を表す言葉をはこで囲んだりして、段落相互のつながりを意識した学習を繰り返し進めてきた。その結果、復習プリントで、進んで順序を表す言葉をはこで囲みながら読むなど学習の成果が見られた。キーワードに着目させて、文章の内容を読み取ることの学習では、まだキーワードの押さえが十分ではないため、自分では見つけられない子も見られる。

そこで、本単元では、接続語や文の書き出しに注目させ、段落の役割や段落相互の関係を意識させながら学習を進めていくことで、確かな読み取りへとつなげていきたい。また、キーワードのおさえ方を繰り返し学習することで、段落ごとの要点をまとめる力を身につけさせたい。

(2) 教材観

第3学年及び第4学年の「読むこと」の指導目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにする」である。本教材の中心となる指導事項は、「段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に読む」「内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読む」である。

2年生の教材「たんぼのちえ」では問題提示から解決までの経過を筋道立てて読み取る学習をし、「サンゴの海の生き物たち」では、事柄の順序を考えながら読み取ることを学習してきている。

また、3年生の一学期教材「ありの行列」は、ウイルソンの問いかけから仮説を立て、検証し、まとめるという仮説・検証型の文章であった。また、段落という概念を学習の中で使ったことが初めてで、段落の役割や段落の相互関係を学習することに適した教材であった。

本教材の「すがたをかえる大豆」は、構成が「はじめ」「なか」「おわり」の3つのまとまりに分けられ、大きなまとまりや段落構成が分かりやすい教材である。キーワードも明確で、要点をまとめる学習にも適している。

内容としては、大豆の加工法を紹介した文章であり、大豆の味と栄養を保つための工夫と加工の種類について、五つの事例を用いた解説型の説明文である。

また、本教材は、子どもたちが興味を持ちやすい食べ物を取り上げており、毎日口にしている大豆について書かれている。大豆はいろいろな形に姿をかえて食べられていることに気付かせることで感動や驚きを得られる教材でもある。本教材の学習を通して大豆のみならず他の食べ物や食生活にまで発展させて考えていけるものであると考える。

(3) 指導観

単元の「つかむ」段階において、まず反復Aを通して一学期説明文『ありの行列』の学習事項を確かめ、児童の実態を把握する。そのうえで、児童が何を学習するのか、どんなことを学習するのかなど必要感をもって学習するために、題名想起をさせる。「すがたをかえる大豆」という題名から知っていることや想像されることを自由に発表しあい、分類して掲示する。「すがたをかえる」の意味を十分に考えさせたい。また、見通しをもった学習ができるように、単元の学習計画を共に考えて学習を進めていく。そして、学習のゴールとして「食べ物はかせ図鑑」を作ることを提案する。

「ふかめる」段階においては、大豆をおいしく食べる工夫と食品に注目させて学習を進めていきたい。文中にある「くふう」の言葉をもとに、中心となる文を見つけさせる。また、キーワードをもとに、一人学びで段落の大事なところをまとめさせる活動を行う。さらには、一人学びで考えたことを学び合いの場で発表し合い、お互いの考えの違いやよさについて感じ取らせたい。

「広げる」段階においては、「食べ物はかせ図鑑」を作ることを目標に、自分で調べて文章にまとめる力をつけさせたい。また、完成した後にお互いのよさを見つけ合うことで文章の書き方の手本としたり、これからの学習の意欲付けとしたりしていきたい。そして、反復Bを通して本単元で身に付けるべき力や到達度を確認していくこととする。

単元全体を通して、段落相互の関係やキーワードの押さえ方について繰り返し学習し、身に付けさせたいと考えている。また、個人カルテを活用し、一単位時間毎の一人一人の学習の様子や評価を記入し、指導と評価の一体化を図りながら指導を進めていきたい。

3 単元目標

- (1) 食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆をおいしく食べる工夫を正しく読み取ることができる。
(読むこと)
- (3) 身近な食べ物について、情報を収集したり取捨選択したりしながら、段落に分けて文章にまとめ、「食べ物はかせ図鑑」をつくることことができる。
(書くこと)
- (4) 文末表現や接続語の役割を理解することができる。
(言語事項)

4 単元の指導と評価規準(20時間扱い)

過程	時	学習活動(指導内容)	評価規準<評価方法>		
		すがたをかえる大豆	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
つかむ	1	*反復A(読イ) 「内容のつながりに適した接続語や指示語を選ぶ問題」に取り組む。	・進んで問題に取り組もうとしている。 <観察>	・中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え正しく読んでいる。 <プリント>	・キーワードや段落についておさえている。 <プリント>
	2	・題名想起 ・「すがたをかえる大豆」の全文を読み、初発の感想を書く。 ・新出漢字の練習をする。 ・この学習のゴールを「食べ物はかせ図鑑」とすることを知らせる。	・大豆について知っていることを進んで話そうとしている。気づいたことや驚いたことなどを感想に書こうとしている。 <ノート・評価カード>	・段落をとらえながら読み、どういう内容が書かれているかを読み取っている。 <ノート・評価カード>	・新出漢字の書きの練習を丁寧にしている。 <ノート>

ふ か め る	3	・第1段落を読み、段落の大事なところををまとめる。	・第1段落を進んで音読し、読み取ろうとしている。 <観察・評価カード>	・第1段落で、大豆がいろいろな食品にかわっていることを読み取っている。 <ノート・評価カード>	・「問い」と「答え」の文型をおさえている。 <発言・ノート>
	4	・第2段落を読み、段落の大事なところををまとめる。	・第2段落を進んで音読し、読み取ろうとしている。 <観察・評価カード>	・大豆を食べるために人間が工夫したことを読み取っている。 <ノート・評価カード>	・接続語の働きをおさえている。 <発言・ノート>
	5	・第3段落を読み、おいしく食べる工夫とできた食品を読み取る。	・一つ目のおいしく食べる工夫とできた食品を進んで読み取ろうとしている。 <観察・評価カード>	・一つ目のおいしく食べる工夫とできた食品を読み取っている。 <ノート・評価カード>	・人間の手を加えた言葉を見つけておさえている。 「いる」「にる」 <発言・ノート>
	6	・第4・5段落からおいしく食べる工夫とできた食品を読み取る。	・二つ目、三つ目のおいしく食べる工夫とできた食品を進んで読み取ろうとしている。 <観察・評価カード>	・二つ目、三つ目のおいしく食べる工夫とできた食品を読み取っている。 <ノート・評価カード>	・人間の手を加えた言葉を見つけておさえている。 「いる」「こなにひく」「すりつぶす」「しぼり出す」 <発言・ノート>
	7	・第6・7段落からおいしく食べる工夫とできた食品を読み取る。	・四つ目、五つ目のおいしく食べる工夫とできた食品を進んで読み取ろうとしている。 <観察・評価カード>	・四つ目、五つ目のおいしく食べる工夫とできた食品を読み取っている。 <ノート・評価カード>	・人間の手を加えた言葉を見つけておさえている。 「くわえる」「まぜる」「取り入れる」「育てる」 <発言・ノート>
	8	・第8・9段落を読み、この文章のまとめの文を読み取る。	・第8・9段落を進んで読み取ろうとしている。また、いろいろな形にすがたをかえたことをふりかえろうとしている。 <観察・評価カード>	・大豆はいろいろなすがたにかわっており、多くの食べ方が考えられた理由を読み取っている。 <ノート・評価カード>	・「このように」で始まる文章のまとめの文の見つけ方をおさえている。 <発言・ノート>
	9	・段落ごとの内容を表にまとめ、文章構成を確かめる。	・今までの学習を振り返って進んで表にまとめようとしている。 <観察・評価カード>	・それぞれの段落の内容をおさえて大事なところを正しく読み取っている。 <ノート・評価カード>	

		食べ物がかせになろう	関心・意欲・態度	書くこと	言語事項
広	10	<ul style="list-style-type: none"> 他の食べ物について気づいたことを発表する。 「食べ物がかせになろう」を読み、自分が調べる食べ物を決め、学習計画をたてる。 新出漢字の書く練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の食べ物について気づいたことを進んで発表しようとしている。また、自分が調べる食べ物について興味をもって学習しようとしている。 <観察・評価カード>	<ul style="list-style-type: none"> 「食べ物がかせになろう」を読んで、調べたい食べ物と調べることを決め、学習計画を立てている。 <ノート・評価カード>	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字の書きを丁寧に練習している。また、それをもとに短文をつくっている。 <観察・ノート>
	11				
げ	12	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「本で調べる」をもとに本での調べ方を学習する。 自分の目的に合った本を探し、調べたい事柄を発見カードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 本の調べ方を進んで学習し、調べることに必要な本を探して読もうとしている。 <観察・評価カード>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が調べたい食べ物についての大事な情報を発見カードに書いている。 <発見カード・評価カード>	
	13 14				
る	15	<ul style="list-style-type: none"> 発見カードを整理し、それぞれのまとめごとに文章を書く。 書いた文章を清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発見カードを関連づけて分け、まとめを作ろうとしている。 <発見カード・評価カード>	<ul style="list-style-type: none"> 発見カードをまとまりに分けたものを文章に書いている。 <発見カード・評価カード>	<ul style="list-style-type: none"> 作文の書き方をおさえて丁寧に書いている。 <観察・文章>
	16 17				
	18	<ul style="list-style-type: none"> 文章をまとめ、「食べ物博士図鑑」を作る。 本を読み、お互いの文章の良さを発表しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> 本を読み文章の良さを進んで発表しようとしている。 <観察・評価カード>	<ul style="list-style-type: none"> 本を読み文章の良さを書いて発表している。 <食べ物図鑑・評価カード>	
	19				
	20	* 反復B (読イ) 「文の内容を正しく読む問題」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを生かして、課題解決に取り組もうとしている。 <プリント>	<ul style="list-style-type: none"> 文章を段落に注意して正しく読み取っている。 <プリント>	<ul style="list-style-type: none"> 段落の働きを押さえている。 <プリント>

5 本時の指導 (6 / 20)

(1) 授業の構想

接続語に着目したり、キーワードに着目したりして大豆の加工法と食品を見つけることにより内容を正しく読み取る力を身に付けさせたい。

(2) 目 標 (本時のねらい)

大豆をおいしく食べる工夫と食品を正しく読み取ることができる。

(3) 展開

一人学び

今日のキーワード

段階	学習活動	指導上の留意点 (評価) < 評価方法 >
見 通	1 前時までの学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 掲示をもとに 第3段落でどんな工夫があったかを振り返らせる。
	2 本時の学習課題をつかむ。	

<p>す 3 分</p>	<p>大豆はどんな工夫で、どんな食品になったのだろう。</p>	<p>・学習課題は、単元計画の段階で押さえているので確認とする。</p> <p>学習課題がわかったか。 <観察></p>
<p>ふ か め</p>	<p>3 本時の場面を音読する。 ・個人読みをする。 ・指名読みをする。</p> <p>4 第4段落の大豆をおいしく食べる「工夫」とできた「食品」を読み取る。 (1)「工夫」と「食品」について一人学びを行う。</p> <p>第4段落に書いてある「工夫」に線を引き、工夫でできた「食品」をはここで囲みましょう。</p> <p>(2)今日のキーワードを見つけながら「工夫」と「食品」について全体で確かめる。</p> <p>4段落に書いてある工夫はどんな工夫ですか。 工夫をして、どんな食品ができましたか。</p> <p>5 第7段落のダイズをおいしくたべる「工夫」と「食品」を読み取る。 (1)「工夫」と「食品」について一人学びを行う。</p> <p>7段落の「工夫」とできた「食品」について、自分で考えたキーワードを入れてノートにまとめよう。</p>	<p>・読みの視点として、「工夫」と「食品」がどこに書いてあるかを押さえながら音読させる。</p> <p>・読みの視点「工夫」と「食品」についてまとめていくことを確認する。</p> <p>ノートにまとめるができたか。 <観察・ノート></p> <p>・2つ目の加工法になることを接続語「次に」から気付かせる。</p> <p>・題名「すがたをかえる大豆」に立ち戻り「今日のキーワード」を見つける。</p> <p>・キーワードをもとに、ノートに「大豆は、の工夫をすると、 になる。」の様式でまとめさせる。</p> <p>・「これらのほかに」という接続語から5つめの加工法はこれまでの工夫と違うことを読み取らせる。</p> <p>ダイズをおいしくたべる5つ目の「工夫」と「食品」についてまとめることができたか。</p> <p>A キーワードを使って、内容を整理して工夫と食品をもとめることができる。 例「とり入れる時期を工夫するとえだ豆ができ、育て方を工夫するともやしができる。」</p>

<p>39分</p>	<p>(2)今日のキーワードを見つけながら「工夫」と「食品」について全体で確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「とり入れる時期」「育て方」 「えだ豆」「もやし」</p> </div>	<p>B キーワードを使って、ダイズの工夫と食品を落とさずまとめることができる。 例「とり入れる時期を工夫し、まだやわらかいうちにダイズを取り入れたのがえだ豆になる。」 例「育て方を工夫し、ダイズのたねを日光に当てずに水だけやって育てたのがもやしになる。」</p> <p>Cへの支援 7段落にでてきた食品に着目させ、えだ豆ともやしがどんな工夫によって出来たのか文章から見つけさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、大豆としての工夫が述べられた文章であったが、植物の種の「ダイズ」によって食品が作られていることへも目を向けさせていく。 ・課題にそって、内容を整理したまとめ方を学び合いの視点とする。その際、今日のキーワードを押さえると内容が整理されることに気付かせていく。
<p>ふりかえる 3分</p>	<p>6 自己評価カードに評価を記入し、発表する。</p> <p>7 次の学習内容を確認する。</p>	<p>楽しくできたか。 大豆をおいしく食べる工夫がまとめられたか。 今日の感想を書けたか。 <自己評価カード></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このように」の言葉に注目しながら、8段落と9段落をまとめることを確かめる。

8 教材分析

「すがたをかえる大豆」	
言語事項	<p><キーワード> 大豆、ダイズ、たね 小さな生物、時期、育て方 食品、豆、に豆、きなこ、とうふ、納豆、みそ、しょうゆ、 枝豆、もやし</p> <p><指示語> その、それは、それほど、これ、こうすると、これら、</p> <p><接続語> 次に、また、さらに、このように、そのうえ、これらのほかに</p> <p><文末表現> ~ます、~ますか、~ません、です、~のです、~います、 ~からです</p>
要 点	<p>米・麦以外にも、ほとんど毎日大豆を食べているが、姿を変えているので気づかれない。</p> <p>大豆は、ダイズの種である。硬いので、食べにくく、消化も悪いので、いろいろ手を加えておいしく食べる工夫をしている。</p> <p>その形のままでいったり、煮たりするといり豆や煮豆になる。</p> <p>大豆をいって粉にひくと、きな粉になる。</p> <p>水を含んだ大豆をすりつぶして出た汁をさらにしぼって固めると豆腐ができる。</p> <p>目に見えない小さな生物の力で、納豆や味噌、醤油ができる。</p> <p>柔らかいうちに取り入れてゆでると枝豆ができ、種を日光に当てずに水で育てるともやしができる。</p> <p>味がよく、栄養が豊富でやせた土地に強く、育てやすいため、多くの食べ方が考えられた。</p> <p>大豆の良さに気づき、食事に取り入れた昔の人々の知恵に驚いた。</p>
文章構成	<p>対象物（大豆）の提示 説明（5つの工夫） まとめ</p>
筆者の思い	<p>いろいろな食品に姿を変え、わたしたちの食生活を支える大豆には、先人たちの知恵がある。色や形が全く違い、食べ方がまるで違う食品もすべて大豆からできている事に驚かせ、身近な食べ物や食生活について振り返らせた。</p>
発 展	<p>「食べ物はかせになろう」で調べた食べ物について、文章でまとめて発表会をし、全員のものを集めて「食べ物図鑑」を作る。</p>

9 個人カルテ

「すがたをかえる大豆」個人カルテ

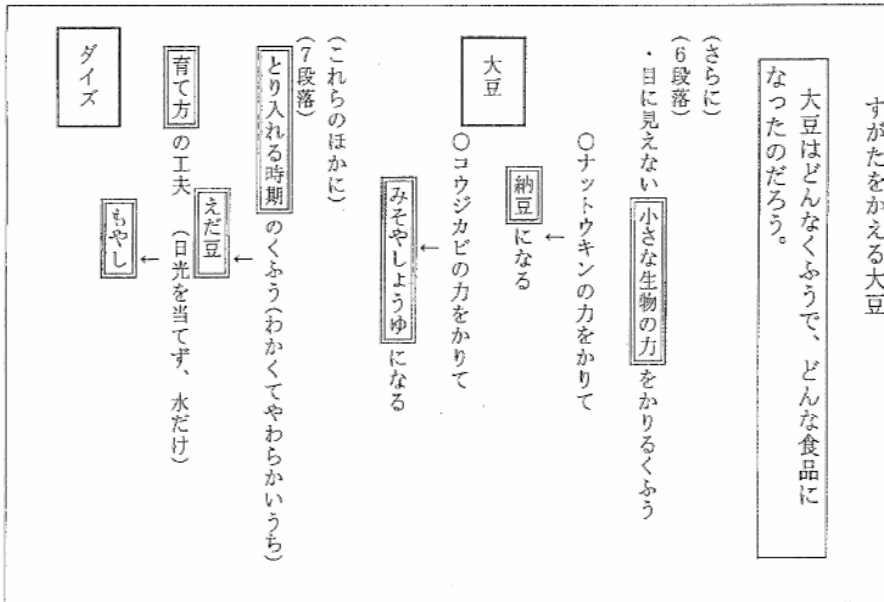
子ども像

名 前

大豆を食べる工夫を読み取り、読み取ったことを生かして食べ物について調べ、自分でまとめることができる。

実 態	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆への興味・関心 ・文章の読み取り ・音読（正確に大きな声でよめる） ・文字を書くスピード 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を書く力 ・作 文 ・集中力 			
初発の感想				
学 習 の 実 態	単元の評価規準表による読むことにそった評価	評価		その他
	今までの学習が身に付いている。(反復A)	A	B	C
	内容をとらえて初発の感想をもつ。	A	B	C
	段落構成をとらえている。	A	B	C
	大豆を食べる工夫や大豆の食品を読み取りまとめている。	A	B	C
	それぞれの段落の要点をキーワードをもとにまとめている。	A	B	C
	調べたい食べ物を選び、学習計画をたてている。	A	B	C
	調べた食べ物の作文をまとめている。	A	B	C
単元終了	<ul style="list-style-type: none"> ・「すがたをかえる大豆」単元テスト ・読みの確かめ（反復B） ・食べ物や科学的な読み物を進んで読もうとしている。 	_____点	_____点	A B C

6 板書計画



7 自己評価カード

すがたをかえる大豆

学習は楽しくできましたか。

名前()

A よくできた

B だいたいできた

C あまりできなかった

D できなかった

大豆をおいしくするくふうがまとめられました。

A よくできた

B だいたいできた

C あまりできなかった

D できなかった

今日のかんそうを書きましょう。
